

# 環境制御とモニタリングによる高設冬いちご栽培のレベルアップ (上川農業改良普及センター)

## 背景

### 【比布町の概要】

- 「いちごとスキーの町」の当町は耕地面積2,570haで、水稻を基幹とした水田複合経営(園芸・畑作)が行われ、冬期に収穫する「千本ネギ」や道内で出荷量トップの「オクラ」に力を入れているが、全般に後継者不足が加速している



### 【地域の課題】

- 町の振興作物である「いちご」は高齢化に伴う後継者不足が著しく、面積・栽培戸数とも20年前の3分の1程に減少している
- 町内の若手農業者が核となり、いちご栽培の再振興を図る
- 冬期はいちごの出荷が途切れるため、高設栽培による「冬いちご栽培」の確立を図る

## 普及活動内容

- JA・町・農業者・普及センターで「ぴっぷいちご再振興プロジェクトチーム」を結成、上川農業試験場を含めた支援体制を整備

- 冬いちご・環境制御高設加温ハウスの導入(108坪)

- ①温度制御
- ②給液装置(液量・時間・pH・EC)
- ③炭酸ガス発生機器
- ④日射センサー(昼間)



- 環境測定モニタリングによる管理技術の向上

モニタリング項目	適正実施
適正pH・EC	○
温度管理	○
給液量調整	○
炭酸ガス施用	○
摘葉・摘果の実施	○
病害虫防除	△



データを確認し管理を適正化 関係機関一体で技術改善

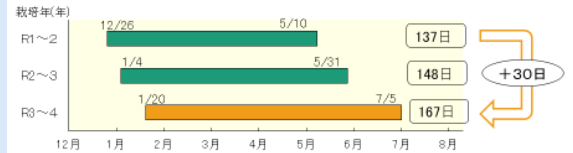
## 普及の成果

### 【具体的な成果】

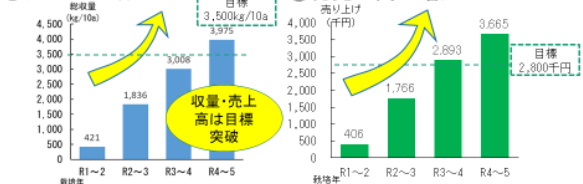
- 収穫期間が伸び、収量・売上高の増加で目標を突破し、町内での冬いちご栽培が可能となった

### R5年までの成果

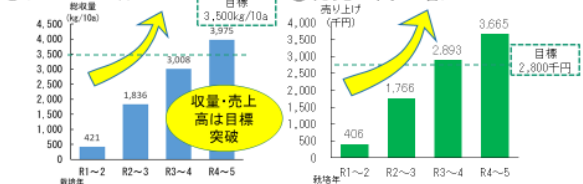
#### ①収穫期間が延長



#### ②総収量の増加



#### ③総売上高の増加



※「総収量」は10a当たり、「総売上高」はハウス当たり

### 【成果のポイント】

- 関係機関全員で週1回の調査を行いスムーズに技術改善を図れたこと
- 農試と連携し、専門的知見を速やかに伝えることができたこと
- 若手農業者の意欲が高まり、ハウス増設の検討が始まったこと